

検査結果表  
(防火扉)

当該検査 に関与し た検査者	氏名		検査者番号					
	代表となる検査者							
	その他の検査者							
番号	検査項目	検査事項	対象 の有無	検査結果			状況、対策等	担当 検査者 番号
				指摘 なし	要是 正	既存 不適 格		
(1)	防火扉	閉鎖又は作動の障害となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況						
(2)		扉の取付けの状況						
(3)		扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況						
(4)	常閉防火扉	固定の状況						
(5)	人の通行の用に供する部分に設ける防火扉	作動の状況						
(6)	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置						
(7)		感知の状況						
(8)	温度ヒューズ装置	設置の状況						
(9)	連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況						
(10)		結線接続の状況						
(11)		接地の状況						
(12)		予備電源への切り替えの状況						
(13)	連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況						
(14)		容量の状況						
(15)	自動閉鎖装置	設置の状況						
(16)		再ロック防止機構の作動の状況						
(17)	総合的な作動の状況	防火扉(常閉防火扉を除く。)の閉鎖の状況						
(18)		防火区画の形成の状況						
<b>上記以外の検査項目</b>								
<b>特記事項</b>								
番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月				

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「-」を記入してください。  
【注意：神奈川県内は対象の有無欄に対象であれば○を記入し、該当しない場合でも「-」を記入する必要はありません。  
】
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、防火設備の検査方法、判定基準別表第一（い）欄に掲げる検査項目について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 対象建築物の全ての各階平面図を別添1の様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む。）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表  
(防火シャッター)

当該検査 に 関与 した 検査者	氏名		検査者番号					
	代表となる検査者							
	その他の検査者							
番号	検査項目	検査事項	対象 の有無	検査結果			状況、対策等	担当 検査者 番号
				指摘 なし	要是 正	既存 不適格		
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況					
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況 ※					
(3)			スプロケットの設置の状況 ※					
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況 ※					
(5)			ローラチェーン又はワイヤロープの劣化及び損傷の状況					
(6)			カーテン部	スラット及び座板の劣化等の状況				
(7)		吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況						
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況					
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況					
(10)		危害防止装置 (人の通行の用に供する部分に設ける防火シャッターに係るものに限る。)	危害防止用連動中継器の配線の状況					
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況					
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況					
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況					
(14)			作動の状況					
(15)	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置						
(16)		感知の状況						
(17)	温度ヒューズ装置	設置の状況						
(18)	連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況						
(19)		結線接続の状況						
(20)		接地の状況						
(21)		予備電源への切り替えの状況						
(22)	連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況						
(23)		容量の状況						
(24)	自動閉鎖装置	設置の状況						
(25)	手動閉鎖装置	設置の状況						
(26)	総合的な作動の状況	防火シャッターの閉鎖の状況						
(27)		防火区画の形成の状況						
<b>上記以外の検査項目</b>								
<b>特記事項</b>								
番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月				

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「-」を記入してください。  
【注意：神奈川県内は対象の有無欄に対象であれば○を記入し、該当しない場合でも「-」を記入する必要はありません。  
】
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、防火設備の検査方法、判定基準別表第二（い）欄に掲げる検査項目について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。
- ⑩ ※欄は、日常的に閉鎖するものについてのみ記入してください。
- ⑪ 「上記以外の検査項目」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。
- ⑫ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっては特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑬ 対象建築物の全ての各階平面図を別添1の様式に従い添付し、防火シャッターの設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む。）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑭ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表  
(耐火クロススクリーン)

当該検査 に関与し た検査者	氏名		検査者番号					
	代表となる検査者							
	その他の検査者							
番号	検査項目	検査事項	対象 の有無	検査結果			状況、対策等	担当 検査者 番号
				指摘 なし	要 正	既存 不適 格		
(1)	耐火ク ロスス クリー ン	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況					
(2)		駆動装置	ローラチェーンの劣化及び損傷の状況					
(3)		カーテン部	耐火クロス及び座板の劣化及び損傷の状況					
(4)			吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況					
(5)		ケース	劣化及び損傷の状況					
(6)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況					
(7)		危害防止装置 (人の通行の用に供する 部分に設ける耐火クロス スクリーンに係るものに 限る。)	危害防止用連動中継器の配線の状況					
(8)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況					
(9)			危害防止装置用予備電源の容量の状況					
(10)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況					
(11)			作動の状況					
(12)	連 動 機 構	煙感知器、熱煙複合式 感知器及び熱感知器	設置位置					
(13)			感知の状況					
(14)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況					
(15)			結線接続の状況					
(16)			接地の状況					
(17)			予備電源への切り替えの状況					
(18)		連動機構用予備 電源	劣化及び損傷の状況					
(19)			容量の状況					
(20)		自動閉鎖装置	設置の状況					
(21)		手動閉鎖装置	設置の状況					
(22)		総合的な作動の状況	耐火クロススクリーンの閉鎖の状況					
(23)	防火区画の形成の状況							
<b>上記以外の検査項目</b>								
<b>特記事項</b>								
番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月				

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「-」を記入してください。  
【注意：神奈川県内は対象の有無欄に対象であれば○を記入し、該当しない場合でも「-」を記入する必要はありません。  
】
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、防火設備の検査方法、判定基準別表第三（い）欄に掲げる検査項目について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 対象建築物の全ての各階平面図を別添1の様式に従い添付し、耐火クロススクリーンの設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む。）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第二号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表

(ドレンチャーその他の水幕を形成する防火設備)

当該検査に 関与した検 査者	氏名		検査者番号					
	代表となる検査者							
	その他の検査者							
番号	検査項目	検査事項	対象 の有無	検査結果			状況、対策等	担当 検査者 番号
				指摘 なし	要是 正	既存 不適 格		
(1)	ドレン チャー 等	設置場所の周囲状況	作動の障害となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況					
(2)		散水ヘッド	散水ヘッドの設置の状況					
(3)		開閉弁	開閉弁の状況					
(4)		排水設備	排水の状況					
(5)		水源	貯水槽の劣化及び損傷、水質並びに水量の状況					
(6)			給水装置の状況					
(7)		加圧送水装置	ポンプ制御盤のスイッチ類及び表示灯の状況					
(8)			結線接続の状況					
(9)			接地の状況					
(10)			ポンプ及び電動機の状況					
(11)			加圧送水装置用予備電源への切り替えの状況					
(12)			加圧送水装置用予備電源の劣化及び損傷の状況					
(13)			加圧送水装置用予備電源の容量の状況					
(14)			圧力計、呼水槽、起動用圧力スイッチ等の付属装置の状況					
(15)	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置						
(16)		感知の状況						
(17)	連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況						
(18)		結線接続の状況						
(19)		接地の状況						
(20)		予備電源への切り替えの状況						
(21)	連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況						
(22)		容量の状況						
(23)	自動作動装置	設置の状況						
(24)	手動作動装置	設置の状況						
(25)	総合的な作動の状況	ドレンチャー等の作動の状況						
(26)		防火区画の形成の状況						
<b>上記以外の検査項目</b>								
<b>特記事項</b>								
番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月				

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「-」を記入してください。  
【注意：神奈川県内は対象の有無欄に対象であれば○を記入し、該当しない場合でも「-」を記入する必要はありません。  
】
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、防火設備の検査方法、判定基準別表第四（い）欄に掲げる検査項目について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 対象建築物の全ての各階平面図を別添1の様式に従い添付し、ドレンチャージャーその他の水幕を形成する防火設備の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む。）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第二号又は別記第三号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。